

筒台会報

発行所

神戸市立葺合高等学校筒台会

〒651-0054 神戸市中央区野崎通1-1-1

TEL078-291-0771 (葺合高校事務室) TEL078-271-4000 (筒台会事務局)

ホームページ <http://www.todaikai.net>

編集・印刷

三和印刷株式会社

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-21

TEL078-431-3981



平成25年12月に完成した本館（校舎棟）



平成28年6月完成の新校舎予想図

●目次.....	1	●母校トピックス.....	10～
●「ごあいさつ」.....	2	●平成26年度教職員移動.....	12
筒台会会長 古川 浩		●フェニックス賞.....	13
●「筒台会東京支部活動報告」.....	2	●部活動の主な成績／卒業生進路状況.....	14
筒台会東京支部長 大政直人		●この人に聞く.....	15
●「ごあいさつ」.....	3	●会員の皆様へお願い.....	16
校長 西尾 勝		●広告.....	19～
●「人は石垣、人は城」.....	3	●平成26年度 筒台会役員(案).....	26
教頭 大野 毅		平成26年度 筒台会総会・懇親会次第	
●「ともに生きる力」.....	3	●会計報告・予算案・会計監査報告・会務報告.....	27
教頭 中 正和		●平成26年度 筒台会・筒台会東京支部	
●寄稿 筒台会だより.....	4	総会・懇親会のご案内.....	28



ごあいさつ

筒台会会長
古川 浩 (高校18回)

会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、学校当局をはじめ筒台会役員・幹事及び会員の皆様には同窓会の活動に対し絶大なるご支援、ご協力を賜り有り難うございます。

早いもので昨年筒台会会長の任をお受けしてから約1年になろうとしております。その間、各回の同期会、クラス会またOB会等に出席させていただき筒台会に対するさまざまなご意見をお聞かせ頂いております。今後ともに色々なご意見をお聞かせ頂きながら筒台会の発展の為、微力でございますが尽力してまいります所存です。

今後共にご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、ご承知の母校建替工事ですが、昨年暮れに第1期工事の本館（校舎棟）が完成致しました。立派な建物となっており、学校よりのご配慮により建屋の中に筒台会室が設けられました。近辺にお越しになることがあれば是非ご覧下さい。

順調に工事が進行しているようですが、最終の完成は平成28年6月の予定とお聞きしております。歴史ある文教の地【筒井が丘】に母校が再建され更なる発展と飛躍を期待するものです。

この5月下旬に筒台会名簿が発刊予定です。5年に1度の発刊となっておりますが、名簿は母校及び筒台会にとっての財産です。発刊に際しご協力を賜りました会員・教職員をはじめ関係各位に改めて御礼を申し上げます。プライバシーマーク取得の同窓会サポート企業に作成委託し、情報管理に細心の注意を払っておりますが、本名簿は会員の連携・親睦また組織の継続・運営には必要不可欠なツールと認識致しております。何卒ご理解ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

今では、会員が24,000余名（平成26年3月現在）となりました。

現状、会員の皆様に筒台会報をお届け出来ている部数が8,000部程度となっており、なんとか近い将来に会員全員の皆様にお届け出来る体制造りを模索しておりますが、原資となり得る財源は、会報協力金及びその広告費となります。

筒台会報の理想の姿を追いかける為に会報協力金にぜひともご協力いただけるようお願い申し上げます。

『筒台会活動の三本柱』と銘打ち、

- ① 会員相互の親睦とその向上を図る
- ② 筒台会報の充実を図り発行の継続と拡大を目指す
- ③ 母校及び在校生への支援活動を充実させる

の三つを大きな活動目標としこれを実践してまいります所存でございます。会員各位また関係各位のより一層のご理解とご支援・ご指導を宜しくお願い致します。

6月28日（土）には筒台会総会・懇親会が開催されます。

『友は宝、宝の山、筒台会』多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。最後になりますが、皆々様の益々のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



筒台会東京支部活動報告

筒台会東京支部 支部長
大政 直人 (高校24回)

こんにちは！

筒台会の皆様、支部長2年目の大政と申します。東京支部は一都六県をサポートさせて頂いております。名簿に登録している会員は700名ほどですが、5月第4土曜日の総会には毎年80名ほどの方がご出席されますのでその出席率（11%程度）は実に素晴らしいものであります。ひとえに会員の皆様のご協力の賜物であると思っております。昨年は5月25日（土）に新宿にあります小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21階パークルームで盛大に開催いたしました。今年も同じ場所で5月24日（土）に開催いたします。また本部を見習いまして今年から中学校卒業生の方の会費を無料とさせていただきます。

その他の行事としましては年に2回「語る会」と称し、会員の中からどなたかに、ご自身の専門分野のお話を聞かせて頂いておりますが、昨年8月31日（土）には、前からの希望でありました地震対策を考えたいという事で、神戸新聞社の織戸新様（高21回）のご紹介で神戸新聞社・論説委員の志賀俊彦さんをお迎えし「記者の目から見た阪神・淡路大震災」という事で、沢山の資料と共に、ご自身の体験談や震災後の対応など貴重なお話を伺う事が出来ました。21名の参加者からも質問や感想が飛び交い有意義な1時間30分を過ごしました。

今年は9月の第3あるいは第4土曜日に、これも前からの希望でありました歌手で作曲家の木村弓さんを招いて「語る会スペシャル・バージョン」と題しミニ・コンサートを開催いたします。木村さんにはご自身が作曲し歌っているジブリの映画「千と千尋の神隠し」のテーマである「いつも何度でも」他数曲を歌って頂く予定です。

最後になりましたが本部の皆様にはこれからも東京支部へのご支援をどうかよろしくお願い致します。



平成25年8月31日（土）語る会



平成25年5月25日（土）東京支部総会・懇親会



歴史・伝統の継承と 更なる進化

校長
西尾 勝

日に日に青葉ますころとなりました。筒台会の皆様には平素より本校教育活動への絶大なるご支援、ご協力をいただいていますことに厚く御礼申し上げます。

今春は、国際科、普通科合わせて271名が巣立ち、諸先輩方が築いてこられた母校葺合高校との絆である筒台会に入会しました。筒台会の方々にご支援を頂いています校舎の解体と新校舎棟の建設は、25年度の卒業生が2年生の時から始まりました。教育活動が十分に行えるよう、安全面も含めて配慮して進めてはきましたが、この生徒たちの協力と理解がなければできなかつたと感じています。登下校時の警備員の方の指示に整然と従う様子。旧校舎・仮設校舎からの教室移動の素早さ。仮設廊下のルールに沿った使い方。水道や電気が止まった時の冷静な対応。工事に伴う諸々の不便不都合に、自らが出来ることを心地よい所作と真摯な態度で過ごしてくれました。

「何とか、卒業する前に新校舎での生活を」と念じていました。そして、願いは通じ、昨年12月新校舎へ生徒で最初の第一歩を記してくれました。入った瞬間の満面の笑顔と弾けるような歓声が今でも鮮やかに蘇ってきます。伝統と歴史を継承した新校舎がそうであるように、生徒たちは、筒台会の方々から築いてこられた葺合の伝統と歴史を引き継ぎ、そして新たな歴史を刻み込んでくれました。

26年度は、募集クラスが2クラス80名増え、新たに360名が入学し、全校924名の生徒が葺合生としての誇りを胸に、新年度を出発しています。また、葺合高校は、今年度、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」の指定を受けました。全国から多数の応募があった中、これまでの葺合高校の実績と更なる成長への期待をこめて見事、選出されました。指定されたのは全国で56校、兵庫県では、県立姫路西高、関西学院高等部、そして葺合高校の3校だけという極めて難関をくぐり抜けての指定でした。「SGH」事業の目的は、「急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決能力等の国際的素養を身につけ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高校段階から育成する」ことにあります。本校は、これまで「確かな英語運用能力を養い、国際社会において積極的に活躍できる人材の育成」を目指して研究・実践を重ねてきています。加えて、本校には人文科学・社会科学分野での学び、教科間の横断的な指導と、まさに研究・研鑽の蓄積があります。これらの実践の成果を糧に大学・企業・国際機関との連携を図りつつ、国際都市神戸としての地域性を生かし、幅広い教養や国際的問題解決能力を身につけたグローバル・リーダーの育成を新たな使命として取り組んでいきます。葺合の伝統とは進化し続けることにあることを、肝に銘じ、先生方、生徒たちと手を携えて、葺合高校の伝統と歴史を継承しつつ、新しい教育環境の整備と新しい教育活動の創造に向けて、懸命に全力を尽くしてまいりますので、今後とも筒台会会員各位の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



人は石垣、人は城

教頭
大野 毅

4月に教育委員会事務局学校計画課から赴任してまいりました。5年間の教育委員会事務局では、指導課生徒指導係で3年間、学校計画課で2年間勤務し、学校現場とは異なる角度から神戸市の教育に携わってまいりました。

学校計画課では、主に葺合高校の改築工事を担当していました。縁あってこの新しい校舎で仕事をさせていただくことになり、大変嬉しく思っています。昨年末に本館が完成し、現在、2期の工事中です。3期工事が終了するのは28年度の予定です。葺合高校の栄えある伝統に新しい校舎が完成することで、新たなステージを迎えることになると思います。

現在、NHKの大河ドラマで、「軍師 官兵衛」が放映されています。戦国時代に豊臣秀吉の軍師として、異彩を放った人物です。その豊臣秀吉、織田信長、徳川家康に怖れられた人物に、甲斐の武田信玄がいます。知力・武力・胆力ともに傑出していた人物です。彼の有名な言葉（実際は後世の作だと言われていますが）に「人は石垣、人は城」があります。組織の強さは城などの建物ではなく、人にあるということです。その言葉通り、信玄は大きな城郭をもたなかったですが、彼の人望のもとに多くの秀逸な人材が集まり、無敵の軍団が他国を圧倒していました。

学校での人とは、生徒であり、教職員です。と同時に、保護者や卒業生、地域の方々です。葺合高校が素晴らしい伝統を培ってこれてきたのは、生徒たちの日々の頑張りとともに、葺合高校に関わってきた多くの方々の支援や熱意のおかげです。

この度、葺合高校の一員に加えて頂きましたことは、大変光栄なことだと思います。今後とも筒台会会員の皆さまの変わらぬご支援とご協力よろしくお願いいたします。



ともに生きる力

教頭
中正和

この度、神戸市教育委員会事務局指導課中等教育係から赴任して参りました。

着任して2週間、入学式を始めいろいろな行事が進行する中で、葺合高校は教職員と保護者、そして筒台会の皆様方と一丸となり、素晴らしい教育環境を達成している学校であると感じました。そのような葺合高校に着任した喜びは申し上げるまでもありませんが、同時に、その責務の重大さに身のひきしまる思いがいたします。

さて、本校は国際化社会の進展および国際都市神戸の歴史と役割を踏まえて、神戸にふさわしい国際高等学校であり、異文化との交流を通して世界に目を開き、国際コミュニケーション能力、国際理解能力を高めるとともに、日本語・日本文化に対する理解を深めることを目指し教育活動が展開されています。

新しい校舎が順次建設される中、私自身も葺合高校の職員の一員として、子供達の未来が輝くことを願い、頑張りたくと思います。

甚だ微力ではありますが、先輩の先生方や筒台会の皆様方が築き上げてこられた偉大な功績を、校長先生のリーダーシップのもと本校の職員とともに力を合わせ教育活動、教育環境の充実に、専心努力していきたいと思っております。

今後とも一層の、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

寄稿 筒台会だより

葺高卒業60周年 往時の余韻まだ続く！

(高5回生) 渡辺 寿夫

私たち葺高5回生は昭和28年(1953年)卒業で、卒後60年が経ちました。ほとんどの仲間が、数え年で今年は傘寿(80歳)を迎える年になった訳です。平均寿命から云って、これが最後の同期会になるかも…? と思いつつも、31名もの仲間が元気に新神戸サンホテルに集い、青春の思い出を語り合いました。

筒台会前会長志水さんから、母校の発展状況や建替の進捗具合など心強いお話を伺い、次いで、岡本幸信君の引導で前回の同期会(2010年10月23日)以降に亡くなられた養老先生と下記の仲間たちを想い出しつつ、冥福を祈って合掌いたしました。(橋本信哉君、宮西勉君、日野亨君そして安井真寿美さん…お安らかに!…)

私たちの在学時代は、まさに日本が敗戦の荒廃から立ち上がりつつあった時期でした。校舎は馬小屋同然でしたし、部活は運動場の瓦礫除去からせねばというような惨状でした。辛かったことも多々ありましたが、前向きに明るく過ごした3年間は誠に忘れ難く、まさに、往時の余韻が脈々と続き、歓談に時が経つのを忘れてしまうほどの活況でした。

閉会の時が迫り、末吉得俱君の音頭で葺合高校の校歌を斉唱し、エールを交換しました。これで一段と同期の絆が強まったような感慨を覚え、元気に再会をと心に念じた次第です。吉田良助君等幹事の皆さんには大変お世話を掛けましたが、今後とも宜しく願います。

追伸：折角の帰神の機会でしたので、翌日は「布引の滝」近辺の歌碑めぐりをしてきました。古くから和歌等に詠まれた「布引の滝」の魅力に改めて感心させられたような次第です。これは戸崎曾太郎君の「歴史ウォッチングガイド」(2013年4月刊)に教えられたものです。このガイドブックは、神戸の隠れた宝に焦点を当て、まさに眼を覚まさせてくれました。関心をお持ちの方は、戸崎君にお問い合わせ下さい。(Tel 078-251-6363)

卒業51周年同期会

(高14回生) 水口 研二

私達高校14回生(37年3月卒業)は今年もまた10月12日(土)にホテル北野プラザ六甲荘で学年同窓会を開きました。

林田一夫先生そして川野敏夫先生をお招きして、昨年よりは一寸緊張感も解れた和やかな雰囲気で開催を迎えました。リラックスできたもう一つの大きな要因は、4組の堀君進君を表幹事に仰ぎましたが、何と本邦初公開、女性二人、4組清州(鈴木)、湯川(中田)の両悦子さんの司会で会が進行したことです(いいですねっ!来年からもできれば、女性の

司会で進めて行こうと思いましたがねっ!)

昨年の卒業50周年に比べてやや参加人数は減ったものの、川野先生のご来賓ご挨拶に続き、久しぶりの遠来の友飯田周助君の乾杯と続き、会食に入るや、年相応に皆あちこち痛んできていますが、いっぺんに高校生に逆戻りです。テーブルや会場内のあちこちで人の輪ができ、思い出話や暴露話で大いに賑わいました。お腹も膨れ、一段落付いたところで、一口近況報告が始まりましたが、人によっては余り嬉しくないなあ…の気配(皆遠慮深くて)。これを機敏に察した今年の司会者は持てる絶妙なテクニックで次々に皆を籠絡・陥落させてしまったことは、＼(^o^)/。

引き続き3組森見君のハーモニカ演奏と進み、やはり司会者先導の下、森君の伴奏で昔懐かし歌声喫茶店状態に突入!

青春時代を思い出しお腹の底から声をだして歌いました。二次会は階を移して、語るもの、歌うもの夫々ですが、気が付けばもう終了時間…『幹事!延長っ!』の一声で、フロントへ。そして、又『乾杯!』…やれやれ(カラオケルームやないねんけど…)

私達高校14回生の同期会は平成17('80)年までは5年に一度の開催でしたが、平成18年からは毎年開催するようになり、本年度で8年目になります。いつも参加する固定のメンバーに卒業以来初めてや久方ぶりの参加者も交えて、肘張らず、のんびりと、ゆったりとやっています。それもあってか『えっ!おまえってそうやったんか。知らなかったな!ええとこあるやん!』などと今になって初めて知る友の隠された一面などを知ることができ、毎年顔を合わせるのが益々楽しみな会になっています。

来年は5組さんの担当ですが、クラス幹事皆力を合わせてこの先永く開催し続けたいものです。

『昔の友は今年も昔のまま!』です。

第5回 有志による同期会

(高18回生) 石井 保年

平成26年2月11日(火)に昭和41年卒18回生による同期会を六甲荘にて開催いたしました。

本年度は、葺合高等学校入学より50年目にあたり全国より79名の同期会が参集し旧交を温めました。

当日は、筒台会会長古川浩さん(高18回生)より筒台会の現状、母校葺合高等学校の建て替えの様子等をご報告いただき話が弾みました。

久しぶりにお目にかかった同期生の自己紹介、歓談等であっという間に3時間が過ぎ、次回まで健康を保つ事を約束し散会しました。



50年前の運動部の話

(高19回生) 前川 敏和

2020年東京オリンピック開催が決まりました。巨人、大鵬、卵焼きと言う言葉に憧れる約半世紀前(50年位前)の1964年に日本で初めて東京オリンピックが開催されました。文武両道の我が葺合高校のそんな約50年前の運動部の話です。その東京オリンピック開催の前年1961年から1966年迄、6年間連続全国大会出場と言う運動部、葺合高校陸上競





技部（長距離）が有りました。高校野球の全国大会と言えば昔より「甲子園」と言われますが、言い換えれば6年連続甲子園出場と言う輝かしい快挙です。優勝こそはできませんでしたが、最高4位で毎回上位入賞に終わりましたが、今でも全国大会出場は公立普通高校からの出場は厳しく、まして6年連続はなかなか出来る事ではありません。勿論ラジオ、テレビ実況放送の無い時代

に、そんな時代と言うのに学校あげて全国高校駅伝の応援に貸し切りバス何十台を駆り出し、生徒の殆どが応援に行きました。学校あげての駅伝の応援では沿道で長い範囲の応援になり、甲子園のように一団となり固まっての応援ではないので余り目立ちません。今ではテレビ実況放送、携帯電話、携帯テレビあり、出場選手が今どこに走って居るのかわかりますが、その当時は何時頃、何番目に我が葺合高校の選手が来るのか、全く分からなく、いつ来るのかいつ来るのかと待ち、沿道の前の応援者から、来たぞ、来たぞとの言葉だけが頼りの応援でした。その後運動部全体の活躍の声もなかなか聴くこともないまま、学生運動などの歴史を経て現在の国際的な模範スクールと成長を遂げているようです。やはり学生生活の中で、学校全体一団となり応援し！声を張り上！熱く！感動するもの！は何時の時代も高校生活の思い出として残るのではないのでしょうか。

私と太極拳

(高19回生) 澤井 博子

幼い頃からどちらかと言うと虚弱だった私は、食が細くよく風邪もひいた。高校時代、片手に下げるカバンの重さで腕が抜け落ちそうで、道端にカバンを投げ出してはこぼった肩を幾度となく揉みながら、このまま引き返してする休みをしたいと、何度思ったことか。でも、かえってそういう体質のおかげで大病もせず今までやってこれたのかもしれない。年金から介護保険が引かれ、すこやか手帳なるものも戴いた。そんな私が今、「日本武術太極拳連盟」の公認指導員をしている。「用意不用力（よういふようりき）」これは、太極拳十訣（太極体動即ちタイチ・ムーヴメントを習得するための要訣）の内の一つで、「意を用いて力を用いず」言い換えれば「力を入れてもりきまず」という意味になります。会田みつをの「にんげんだもの」の中に「りきんだらダメ、たるんでもダメ、力を入れてりきまず、それがなかなかむづかしいんだよなあ」というのがありますが、私が今まさに悪戦苦闘しているのがそれなのです。「太極拳って何？」って聞かれた時、私は「自分の体を超良質のゴム・ボールに仕上げる健康武術」と答えます。「柔軟を極めてしかるのちによく堅剛を極める」です。力と力がぶつかれば、力の強いものが勝ちます。でも、大きなゴム・ボールを力でもう叩いても弾き返されますよね。ゴム・ボールそのものに力はありませんが、相手の力を吸収し、押し返す弾力があります。それが究極の太極拳だと思っています。そして、それは人としての生き方にまで反映できるものだとさえ思っています。た易く得られる境地ではありません。太極拳は中国古来の武術を礎とする

ものですが、その經典ともいえる「太極拳経」には、哲学的、宗教的、道徳的な要素も数多く含まれて興味深く、「心、技、体」を磨くことで、日常生活をより豊かにできるものとして、日夜励んでいる今日この頃です。ご興味のある方は、いつでもお気軽に連絡を下さい。

団塊の世代である私達の高校時代、テニス・コートはプレハブの仮設校舎に占領され、教室は通路がなくなる程ざっしり。そんな中、生徒会執行委員の一人として、マイクの前で足を震わせていたこともありました。又、ツタのからまる噴水のある中庭が憩いの場として今も記憶に残ります。そして今、新校舎完成を楽しみにしながら、こうしてつたない私事徒然を寄稿させて戴く機会を得ましたことを感謝致します。



第3回 葺合高校第20回生同期会開催

(高20回生) 井上 啓子

2013年10月26日（土曜日）午後4時より「ホテル北野プラザ六甲荘」にて開催されました。

懇親会に先立ち母校の校舎建て替え工事が行われているので「校舎見学ツアー」を実施しました。

校舎見学には20人が参加。大西教頭先生のご案内で懐かしい構内を巡りました。

教室では椅子に座って昔の授業風景を思い出していました。

私たちはいわゆる「団塊の世代」。一クラス50数人で10クラスありました。1年生の時はプレハブの仮設校舎で授業が行われました。

煉瓦作りの中世の寺院のような中庭もあって、中庭をぐるっと取り囲むように職員室と保健室がありました。庭の真中には小さな噴水。階段を上ると細い通路があり鳩小屋がありました。中庭の西側にはきれいに刈り込まれた生垣に囲まれてテニスコートがありました。教室からよく見えて、練習している乾いたボールの音が心地よく耳に響きました。

この日は教室に座ると南に立派な校舎が建ち上がっていました。

講堂にも案内してくださいました。舞台下手の壁に校歌が掲げられていて小さな合唱が始まりました。

新しい校舎の南側では恐竜のように巨大なクレーンがゆっくりと工事を進めていました。

玄関で立派に成長した蘇鉄の前で記念撮影。大西教頭先生ありがとうございました。

さて、懇親会。43人の生徒（？）が参加、そして神田民枝先生、飛鳥光恵先生がご出席くださいました。

お2人の先生のお話は音楽のように私の周りを流れてゆきました。何を



お話しされたのか覚えていません。すみません。先生のお声と姿勢が昔のまんまでその懐かしさに浸っていました。

お話の後は食事と歓談、ビンゴゲーム、そしてフォークダンスの筈がなぜか予定になかった簡単な自己紹介が始まり…これがなかなか…簡単には終わりませんでした。フォークダンスは次回のお楽しみと言うことになりました。

そしていつものように皆で記念撮影。校歌と生徒歌を歌って賑やかなうちに第3回同期会は終わりました。

また2年後にお会いしましょう。

神田先生、飛鳥先生、そして生徒の皆さん お元気でいてくださいね。

24回生 還暦の会開催

(高24回生) 小坂 育子

24回生の集い、“蒼合ひろがり24” 還暦 祝いの会を9月28日(土) 神戸北野ガーデンにて、62名が参加し盛大に行われました。



進木幹事長の挨拶から始まりあっという間に高校生に気持ちだけが戻った仲間たちと交流し、本当に楽しいひと時を過ごしました。飛鳥先生、高田先生、藤田先生のお話に耳を傾け、『高校生のときにこれぐらいしっかり先生方のお話を聞いていればみんなもっと賢くなっていたのになあ』と影の声が聞こえたとか聞こえなかったとか。

本当に久しぶりの友と出会うことができお互いの成長?に、またびっくり。美味しい食事に舌鼓をうち、時の経つのも忘れ語り合いました。大政さんのピアノ演奏と野口さん杉山さんの美しい歌声がさらに会を盛り上げてくれました。還暦を迎えいよいよ第二の人生へと進んでいく24回生は益々絆を深め、桜の花が咲くころに再会を確認しあいました。毎回、同窓会実施のための準備作業、会場の提供や連絡事務など多くの事をこなして下さっている皆さんに改めて感謝いたします。



世界の人たれ、 宝塚・神戸で「凱旋写真展」を開催

(高25回生) 久家 恵一



筒台会報の前号に「パリの暇人」を寄せたパリジームフランス語学校校長、元フランス職業写真家協会会員の浜和幸が、このほど4月に、「～モン・パリ わがパリ～」と題した写真展を開催しました。

同窓生の誰も知らなかった浜和幸の巴里人生を、前号寄稿文から繰ってみると…、

「大病をして55才で倒れ、そのときリハビリセンターの医師から、死ぬまで毎日1、2時間歩くように指示されたので、趣味のカメラを持って散歩し写真ブログを始めた」とあります。

件の浜和幸、艱難辛苦を乗り越えて、2012年の東京展に続き、このほど宝塚市制60周年記念事業として宝塚・西公民館ホールで宝塚展を、引き続き、原田の森ギャラリー〈兵庫県立美術館王子分館〉で神戸展が開催されました。

今回の写真展、一方の会場が宝塚歌劇100周年を迎えた宝塚でもあり、テーマは宝塚歌劇演出家の白井鐵造。

1927(昭和2年)、宝塚少女歌劇による日本初のレビュー『モン・パリ』が上演。白井が振り付けた『モン・パリ』のヒット後、白井はパリ



宝塚会場

西尾校長と語るう浜和幸

へ留学。滞仏2年を経て帰国後に公演されたパリ土産レビューの『パリゼット』は満場の観客に迎えられ3カ月のロングラン上演となりました。そんな白井鐵造の面影を求めてパリ市内を浜和幸が活写、会場には1,100余点の写真作品が展示されました。

2003年、母校・蒼合高校に国際科が新設され卒業生を輩出しています。閑話休題、浜和幸のあとに続いて一芸を持った卒業生が世界に拡がり、さらに活動することを願わずにいられません。自主の人たれ、創造の人たれ、世界の人たれ、蒼合高校生……。

「～モン・パリ わがパリ～浜和幸写真展」

—原田の森ギャラリー—

(高24回生) 谷下 京子

原田の森ギャラリーでは、宝塚とは若干入れ替えを行った写真1,000余点に加えて、私たちが蒼合高校に在学当時美術を教えておられた彫刻家の大垣圭介先生の作品も展示され、両作品の相乗効果で会場全体がとてもアーティスティックな空気に包まれていました。しかし、残念なことに大垣先生は、神戸での開催を待たずして4月8日に逝去され、はからずも遺作展となってしまいました。会期中に来場された奥様の多美子さ

んが「圭介はきっとこの会場に来ていると思いますよ。」とおっしゃった言葉が印象的でした。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

さて、地の利の良さもあってか、神戸では3日間の会期中に同窓生と一般合わせて400名を超える来場者があり、私たち同窓生にとっても懐かしい出会いが沢山ありました。そして、来場者の中で「写真展終了後、この沢山の素敵な写真はどうなるの？」という声が聞かれる中、うれしい申し出がありました。私たちの3年先輩（21回生）で、現在神戸新聞社の専務取締役兼ミント神戸（旧神戸新聞会館）の社長を務めておられる織戸氏が、浜君の作品を高く評価され、ミント神戸に展示して下さることになったのです。作品がより多くの人々の目に触れることになれば、浜君は将来プロの写真家として名を馳せるかもしれません。それは、私たち同級生にとってもこの上なく喜ばしいことですが、その

ような日がやってきても、浜君には、多くの同窓生の協力と応援で成功を収めた2014年の写真展のことを、忘れずにいてほしいと思います。この写真展に関わった葺高同窓生の友情の熱さと心意気をいつまでも…。



楽しいクラス会

(高26回生) 中畑 真



毎年開催されている、「2年4組クラス会」のことはお話しさせていただきます。

なぜ、2年？と疑問に思われるかと思いますが、担任の影山先生を中心にクラスメートが皆とても仲良しでした。

修学旅行（柵池スキー）もこのクラスで行ったので思い出もたくさんあります。（影山先生：教科は体育。1972年に初めてクラスを受け持ったのがこの2年4組です。体育の時間はタイコを叩き、「走れ〜」と叫ぶのが得意技でした）

私は、東京の大学に進学し、東京の会社に就職したので、仕事、子育てと忙しくなかなかクラス会に参加できませんでした。

私が参加したのは2007年からで、33年ぶりに影山先生、仲間と会えてとても感激しました。

懐かしい顔に出会ったとたん、「うわ〜、お前ひとつも変わってないやんか！」“〇〇だろう、お前、老けたんじゃないかあ〜！、毛、どこに落としたん。”皆は歳相応に変わっていましたが、話すとおとという間に高校生に戻ることが出来ました。本音でしゃべれる仲間達、ホントにいいもんですね。

最近のクラス会は、2年4組の枠を超え、他のクラスの仲間たちも参加してくれています。

また、本年は49年卒の同窓会（平成26年5月4日）も開かれるとのこととです。

同窓会は残念ながら参加できないのですが、これからも都合が付く限りクラス会、同窓会に参加し、そのついでに懐かしい神戸でステーキ、薄い関西のきつねうどん、明石焼き、お好み焼きを食べることを楽しみにしたいです。

もう少しお付き合いください。

私は3年間、サッカー部に所属していました。結構、強かったんですよ。県でベスト4に入り、春の近畿大会に出場しました。

会場は京都の西京極総合運動公園で、和歌山北高校（和歌山1位）に勝ち、2回戦は同点で抽選負けでした。

また、同時に行われていた、春の甲子園選抜大会で江川卓が大活躍していたのも思い出します。

1年後輩は、翌年に県優勝し、インターハイに出場したと聞いています。

サッカー部のOB会があれば参加して、お世話になった先輩や、後輩に会い旧交を暖めたいと思っています。是非、連絡をお願いします。



今年50歳となる昭和58年卒業組ですが？！

(高35回生) 久保 拓樹

私は、父の仕事の都合で1978年～1983年の5年間だけ神戸は御影に住み、住吉中から葺合高校へ入学しました。ただ高校時代は、自分と言うのもなんですが、結構真面目に生活しており、あまりはじけた思い出はないまま（自分が忘れているだけの可能性も大ですが）父の異動とともに自分も大学生活を東京で過ごしました。そして最近、大学の後輩に葺高生もいるという嬉しい状況です。

社会人になっても神戸との接点はあまりないままでしたが、たまたま出張の合間に葺合を訪問。夕方下校する生徒を見送るために正門にいらした一人の先生が敷地内を案内してくださいました。というより、世の中でいろいろ問題が起きており、卒業生といえども部外者だけでは立ち入らせないということでした。その数ヶ月後には校舎も建て替え工事開始、実にいいタイミングでした。

それからというもの葺合にちょっとした親近感、卒業以来あまり縁のなかった筒台会の東京支部総会や語る会などにもたまに顔をだすようになりました。さらには、どんな縁でしょうか、昨年から東京支部会の末端役員もお引き受けすることに。総会で同期仲間と話に出たのは、「集まりに参加できる人は幸せ。いろんな事情があって出られない人もいる。」その通りだと思います。過去に参加していない仲間が今度は出たいと思った時に気持ち良く参加できる環境作りは是非やっていきたいなあと思っています。

昭和58年卒業の私達は、今年50歳を迎えます。これまでの人生も早かったですが、この先はもっと早くなりそうな気がします。年次によっては集まりも盛んのようにですが、我が代の状況をつかめておりません。まだ同期の集まり開催されていなければ、集まるための協力をしたいと思っています。既に集まりがあれば、次回は私にも声かけをお願いします！



輪

休むことなくコットンコットン
回る水車の輪。

みなも
水面にひろがる波紋の輪。

かわいいお手々をつないでつくる輪。

青い大空にふわりふわりと飛んでいくシャボン玉の輪。

地球をあまねく包む日輪。

輪ということばからはいろいろ連想できる。

「輪」は「和」にもつながる。

輪のもつ内容には、明るい、温かい、やさしい、なかよく、ひろがるなど、考えれば私たち人生の夢が含まれている。

どんなちっぽけな輪でも、みんなで力を合わせてだんだんと大きな輪にしたものである。

(中2回生) 里 見 明

卒業して50年、ゆうかり会に集合!

葺合高校16回生の集い「ゆうかり会」が下記の通り開催されます。

13回目を数える今年の「ゆうかり会」は、私たちが母校を巣立ってなんと半世紀となる大きな節目の年になります。この50年間の歩みや、50年前に戻っての思い出など、大いに語り合いましょう。

後日、個別の案内をお届けします。「参加」に「○」を付けて返してください。

多くの人に会える日を楽しみにしています。

日 時●平成26年11月7日(金)

17:00(受付)…17:30(開演)

場 所●ポートピアホテル 偕楽の間

会 費●¥10,000-

5組 世話係 志水 利達

第15回 親睦会

FSC2000

葺合高校・スポーツ・クラブ・2000

平成26年2月22日(土) 18時から三宮の〈マンダリンパレス〉にて第15回FSC2000親睦会が開催されました。参加OB会は野球・陸上・サッカー・剣道・テニス・バスケットボール・卓球の各部でOB・OG合わせて43名の参加でした。今回、卓球部がFSC親睦会に初めて参加していただきましたことに心から感謝申し上げます。

今回は剣道部OB会が担当幹事でした。不動FSC会長のご挨拶、松宮前々筒台会会長の乾杯ののち歓談に入りました。いつものように部や世代を超えての和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

今年のゲームは司会とのじゃんけんゲームでした。皆童心に返って、汗が出るほどに気合いを入れてじゃんけんゲームに参加していました。

さて、今回の親睦会でFSC会長が不動譲さんからバスケットボールOB会会長の小西博明さんに引き継がれました。小西新会長のもと、さらにFSC2000が発展していきますように皆で協力していきましょう

次回は、陸上部が担当幹事となります。



OB90人集って開催!! 野球部60周年記念式典



葺合高校野球部創部60周年の記念式典・懇親会が平成26年4月20日(日)に神戸ポートピアホテルで開催されました。地元の神戸はもとより、東京、岡山、九州などから約90人のOBが集いました。母校からは西尾勝校長をはじめ野球部の部長、監督が、筒台会からは古川浩会長、さらに元部長などが来賓として出席しました。

第1部の式典では、野球部OB会の寺内泰明会長(18回生)が「今回60周年記念式典を開催するきっかけ。OB会の設立と活動。これまでの野球部の主な戦績」などを紹介しました。そして「14回生の小林亨寿さんが、真夏の8月末に開かれている第23回全国古希野球大会(参加資格70歳以上)で超人的な活躍をみせ、近畿以西のチームでは初の優勝投手となりMVPに輝かれました。葺合高校野球部では初の全国レベルでの優勝者誕生です」と、うれしい話を披露。歴代のOB会会長には感謝の盾を贈呈しました。

来賓のあいさつでは、西尾勝校長が「現在の校舎建て替え状況の話、グラウンド使用に対する現役野球部員への物資ともの支援に対する感謝の意、将来への青写真」を話しました。古川浩筒台会会長

からは「毎回の総会に対する協力への感謝の意」と筒台会の状況報告がありました。

日本高校野球連盟の現職理事であり、同連盟の前事務局長の田名部和裕氏(16回生)が「葺合高校野球部史を辿る」との題で講演、実は<創部68年>になる話。昭和21年夏の兵庫県大会に市立一中の一塁手として甲陽中との試合に出場した影山武徳さん(1中6回生)には「昭和18年入学し戦時中で同級生が地方に散ってしまい大変な時代だった」と、野球部黎明期の貴重な話を語っていただきました。

第2部の懇親会は、元タカラジェンヌの桐生のぼるさんの歌とスピーチで盛り上がり、OBが持ち寄った現役時代の写真をプロジェクターで映し出した映像には、あまりの変わりように爆笑が起きました(参加者全員にこの写真のCDを渡す)。会場の各所で、時の経つのを忘れて懐かしい思い出話に花が咲きました。

最後に全員で校歌と生徒歌を歌い、不動 譲さん(11回生)のあいさつで会の幕を下ろしました。



TOPICS 母校トピックス

早く広く知らせる「葺合ニュース」

広報企画部では、活動の一環として「葺合ニュース」を発行しています。「葺合ニュース」の目的は大きく2つあります。まず在校生の保護者や地域の方々に葺合高校の生徒のがんばっている姿を広く知っていただくためです。2つめには、中学生とその保護者及び中学校の先生方に葺合高校の生の姿を知っていただき、進路を決定するときの参考にしていただくためです。

この目的のためにやってきたことは以下の通りです。

- ①行事ごとに「葺合ニュース」を発行し、広く関係者に配布
(例. オープンキャンパス、オープンハイスクール、葺合祭、体育大会)
- ②中学校訪問や中学校向け進路説明会での「葺合ニュース」の配布
- ③「葺合ニュース」を拡大して、行事終了直後に校門わきに掲示
- ④筒台会、筒友会などの会合で配布

広く人々に葺合高校の活動の様子を知っていただくために、これから鋭意「葺合ニュース」を発行し、広報活動を活発に進めていきたいと思っております。

平成25年 4月18日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013

NO.4

春季学年合宿2013 in六甲山



4月12日(金)から13日(土)の一泊二日で、恒例の新一年生による春季学年合宿が、「六甲自然の家」で行われました。入学してまだ一週間も経たない段階での学年合宿ですが、今年も非常に素晴らしい合宿になったようです。例年行われているこの春季合宿は、様々な中学校から集まった280名が、この合宿を通して一つのチームになり、また三年間を過ごす葺合高校の一員としての心構えを学ぶ大切な学校行事のひとつです。学年主任の二本先生は、「葺合高校で学校生活を送る上で、集団行動の大切さや、清掃活動の重要性を学んでくれたと思っています」と微笑んでいました。また、葺合高校の伝統ともいえるラジオ体操も、入学して一週間とは思えないほどの一体感を見せ、担当の山内先生も「例年に勝るとも劣らない美しさでした」と目を輝かせる表情からも、この合宿の素晴らしいさを感じることができました。



本校講堂での全体清掃活動

確かに一年生が廊下を歩いている表情にも、授業で見せる姿にも、合宿前より少し大人びたものを感じるのは筆者だけでしょうか。この合宿をきっかけに、さらに葺合生としての活躍を期待してしまふ、そんな一年生たちです。

Kobe Municipal
Fukiai High School 2013

文責: 広報企画部 定時秀和

平成25年 6月5日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013

NO.6

兵庫県総体で好成績を連発!!

陸上競技部
大崎健太選手(3年7組)
兵庫県総体陸上男子400m
大会新記録で優勝!!
200mでも第3位に入賞!!



5月31日に神戸ユニバー記念競技場で行われた陸上男子400mにおいて、大崎健太くん(3年7組)が、男女全種目を通して、葺合高校に37年ぶりの栄冠をもたらしてくれました。それも47秒68のタイムは、大会記録を0秒12更新する新記録であり、全国総体近畿地区予選会に勢いと激進力を持って臨むことになりました。200mでも第3位に入り、400m、200mともに大いに期待できる逸材です。この結果、大崎君は6月13日から奈良県橿原池で行われる近畿総合体育大会に参加することになりました。私たちのインタビューに対し大崎君は「近畿地区といわれる近畿大会を確実に勝ち上がり、顧問の山内先生をはじめ、先生方、陸上部、クラス、そして学校みんなの声援にこたえられる走りをしてきたいです」と笑顔で語ってくれました。ガンバレ、大崎選手!!

女子硬式テニス部
兵庫県総体団体「第5位」!!



4月27日から始まった兵庫県総体総合体育大会テニス競技団体戦で県12シードの葺合高校は、準々決勝にまで駒を進めました。準々決勝では私学の強豪・夙川学院にストレートで敗れましたが、部員全員が一丸となり兵庫県ベスト8、堂々「第5位」の表彰を受けました。コートに立った選手の間際は非常に暑いですが、気持ちや声援を届けた部員、多くのOG・保護者の方々の応援が非常に大きな力となったそうです。また、個人戦ダブルスでも松浦幸子・笹部佑衣のペアが、予選から激えて、7連勝で県ベスト16に入る大健闘をおさめました。

Kobe Municipal
Fukiai High School

平成25年 6月19日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013

NO.7

平成25年度 葺合祭 「吹奏創盛期」

「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ、情熱ノ葺合祭」



本年度も、6月14、15日と葺合祭が行われました。校舎建て替え工事中にもかかわらず、葺合高校生の熱気は高まるばかりで、例年以上のものを感じさせてくれました。特に講堂を使った葺合祭これが最後ということもあり、生徒、教師の思い入れは凄まじく、私の筆力ではとても言葉に出来ないほどの盛り上がりを見せられました。歴史を重ねた講堂がなくなるのはとても残念なことです。葺合高校生に息づいた伝統とDNAは決して消えることはありません。また新しい舞台で、新しい葺合祭を見せてくれることでしょう。「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ、情熱ノ葺合祭」、そんな言葉がふさわしい2日間でした。

文責: 広報企画部 定時秀和

平成25年 6月28日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 (NO.9)

大崎健太選手、インターハイ出場決定!!

陸上競技部
大崎健太選手(3年7組)
近畿大会陸上男子400mで第2位!!
堂々たる成績でインターハイ出場決定



6月13日から奈良市鴻ノ池陸上競技場で行われた近畿大会において、本校、3年7組の大崎健太君が、男子400mにおいて第2位に入賞しました。タイムは48秒58、彼のベストタイム47秒58をもってすれば、優勝も現実的なものでした。「ランキングもトップだったので、2位という結果には満足していませんが、インターハイ出場を決められたことは安心しました。昨年の日本ユースでは予選落ちという結果に終わったので、今年はその経験を活かして全国トップレベルの選手たちと戦ってきます。近畿大会では陸上部みんなのサポートがあったからこそ、インターハイ出場を決められたと思うので、応援してくれている人々すべてに感謝しながら、一つでも上の舞台で最高のレースができるように頑張ります。応援よろしくお願いします。」彼は我々のインタビューにそう笑顔で答えてくれました。悲願の日本一に向かってガンバれ、大崎健太!!

文責 広報企画部 定時秀和

平成25年9月2日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 (NO.11)

イングリッシュ・サマーセミナー2013



葺合高校にふさわしい夏の恒例行事、「イングリッシュ・サマーセミナー」が、8月28日、29日の二日間、篠山市のVIPアルパインローズヴィレッジで行われました。本年度は史上最多の165名が参加し、28名のALT(外国人講師)の先生方と一緒に英語三昧の時間を過ごしました。勢揃いしたALTの迫力に負けない165名の一年生たちの高揚感、さすが葺高生と思わせるもので、入学してまだ半年も経たない彼女たちも、葺合高校の伝統の中でその素質を花開かせてくれたようです。スキット・プレゼンテーションで優勝したチームのメンバーの一人は、「素晴らしい経験ができ、とても楽しく、そして有意義な二日間でした。これからの学校生活が一層楽しみになりました」と笑顔で語ってくれたのが印象的でした。我々も心から期待しています。All the best!!

文責 広報企画部 定時秀和

平成25年 9月5日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 (NO.12)

葺高生 国際交流、部活動でも大活躍!!

スコットランド短期海外研修は大成功
陸上部 国体、近畿高校ユース出場決定



この夏も葺高生たちはあらゆる場面で活躍してくれました。特に、スコットランドの海外短期研修では8月14日から16日間にわたって16名(1年生4名、2年生12名)の葺高生たちが、異国の仲間たちと国際交流を深めてくれたようです。始業式の挨拶でも、ひとまわり成長した姿を見せてくれました。部活動でも、陸上部、3年7組の大崎健太君は出場したインターハイで準決勝まで進出し、おしくも決勝進出は逃しましたが、10月4日から東京で行われる国体の兵庫県代表に選出されることになり、インターハイのリベンジを誓っています。「インターハイでは準決勝で力を出し切れず、とても悔しい思いをしました。国体ではこの悔しさをはらせるよう、順位、タイムともに満足のいくものを出したいと思っています」の言葉からもそれが感じられます。また陸上部1年生、1年7組の井上剛君は、8月21日ユニバー記念競技場で行われた「兵庫県ユース大会」で400mハードル優勝(56秒48)という成績を残しました。この結果、井上選手は9月20日から和歌山県で行われる「近畿高校ユース大会」への出場が決定し、「自分のベストタイムなら優勝を狙えるところにいるので、自分の力を出し切ることに全力を注ぎます」と目を輝かせながら抱負を語ってくれました。女子硬式テニス部も神戸丹有地区1部リーグで準優勝に輝くなど、ここには書ききれない葺高生たちの活躍に喜びを隠しません。

葺合高校 広報企画部

平成25年 9月25日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 (NO.14)

吉報!!

陸上部 井上剛選手(1年7組)
近畿高校ユース大会400mハードルで見事優勝!



陸上部、1年7組の井上剛君は、9月20日から和歌山県紀三井寺陸上競技場で行われた「近畿高校ユース大会」400mハードル競技において、55秒15のタイムで見事優勝を成し遂げました。井上君は「目標としていたタイムには届きませんでしたが、優勝できて良かったです。この結果を糧に、冬の練習を頑張り抜き、来年はもっといいタイムで優勝したいと思っています。次は必ず全国大会に出場します」と力強く語ってくれました。期待しています。まずは速報、報告まで。

葺合高校 広報企画部

平成26年2月28日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 NO.21

少林寺拳法部 全国大会出場!!



2013年12月に行われた近畿高等学校少林寺大会の結果、全力の演技で勝ち抜いた葺合高校少林寺拳法部の六名が、3月22日、23日に香川県丸亀市の丸亀市民体育館で行われる第17回全国高等学校少林寺拳法大会に出場することが決まりました。
写真の左から、福成優希・武本花奈(規定組演武)、赤銅佑太・平田大洋(規定組演武)、中坂真也・藤原大成(自由組演武)の出場者たちです。それもこれも日々の練習の賜。このチャンスを活かし、さらなる活躍と結果を心から期待しています。ガンバレ、六名の精鋭たち!

平成26年3月7日
神戸市立葺合高等学校 広報企画部

Fukiai News 2013 NO.22

平成25年度 葺合高校卒業式

国際科11回生78名、普通科66回生193名
合計271名が葺合高校を旅立っていきました。



平成26年2月28日、快晴の空の下、神戸芸術センターにて、平成25年度葺合高等学校卒業式が行われました。国際科11回生78名、普通科66回生193名、合計271名の生徒たちが、凛とした態度で葺合高校を旅立っていく姿は、見るものすべての人たちに感動を与えてくれるものでした。これぞ葺合高校の卒業生、そんな言葉が何度も頭をよぎる素晴らしい卒業式としか言いようがありません。在校生代表による心のもった送辞の素晴らしいことながら、それに応える卒業生代表による答辞の一言一言は、卒業生だけでなく、先生方、保護者の方々、すべての人たちの心に染み渡るものでした。こうした卒業生の積み重ねこそが、葺合高校の財産であり、この春に入学してくる新入生にも引き継がれていくでしょう。卒業生の皆さん、本当に卒業おめでとうございます。

葺合高等学校 広報企画部

平成26年度 教職員異動

異動種別	氏名	職名	異動先	勤務期間
退職	米 正 三	教諭	葺合高校・再任用教諭	平成11年4月から15年間勤務
	東 徹 也	教諭	葺合高校・再任用教諭	平成8年4月から18年間勤務
転出	大 西 一 雅	教頭	青陽須磨支援学校 校長へ	平成25年4月から1年間勤務
	塩 満 博	教諭	神戸工科高校へ	平成12年4月から14年間勤務
	沼 田 京 子	養護教諭	西灘小学校へ	平成14年4月から12年間勤務
	鳴 神 沙 紀	常勤講師	新規採用 葺合高校へ	平成24年4月から2年間勤務
	佐 藤 弥 生	管理員	こうべ小学校へ	平成21年4月から5年間勤務
ALT	ロメル・パロー	JET	鷹取中学校へ	平成24年4月から2年間勤務
	ジュリー・トラン	JET	高倉中学校へ	平成24年4月から2年間勤務
	デイビット・ギルマン・フレデリック	JET	3月20日までアメリカ帰国	平成22年4月から4年間勤務
	ジョン・ボックス	JET	1月17日までオーストラリア帰国	平成25年4月から10か月間勤務
転入	大 野 毅	教頭	学校計画課指導主事より	
	中 和 正	教頭	指導課中等教育係指導主事より	
	梅 村 佳 史	教諭	理科 楠高校より	
	長谷川 琢 也	教諭	数学 六甲アイランド高校より	
	岩 本 芳 仁	教諭	地歴公民 六甲アイランド高校より	
	今 中 沙 耶	養護教諭	おしんべ幼稚園より	
	石 井 弘 之	管理員	高羽小学校より	
右 田 幸 栄	臨時事務職員	科学技術高校より		
新規採用	鳴 神 沙 紀	教諭	英語 葺合高校・常勤講師より	
ALT	アリシャ・アボット	JET	渚中学校より	
	サミュエル・バート	JET	玉津中学校より	
	ブライアン・チャン	JET	鷹匠中学校より	
	カリン・アン	JET	井吹台中学校より	

フェニックス賞

このメダルは本校菊川晋久元教諭の作である



メダルは金賞、銀賞及び銅賞

母校では、学校生活や地域社会における諸活動に、特に積極的、継続的に取り組んだ生徒を表彰するためにフェニックス賞を設けています。下記の部門があります。

● 3か年皆勤の部(金賞)	● 部活動の部	平成25年度卒業生受賞者数 143名	
● 2か年皆勤の部(銀賞)	● 生徒会活動の部	3か年皆勤の部 33名	部活動の部 32名
● 1か年皆勤の部(銅賞)	● 善行の部	2か年皆勤の部 23名	生徒会活動の部 7名
● 奉仕活動の部	● HR活動の部	1か年皆勤の部 22名	国際交流の部 3名
● 研修の部	● 国際交流の部	奉仕活動の部 2名	
● 努力の部		努力の部 21名	

「フェニックス賞」の由来

フェニックスは本校玄関前にそびえる大樹であり、また、灰の中から何度も生まれ変わる霊鳥の名前でもあります。大樹のようにたくましく、不死鳥のようにいきごと、本校生徒が育つようにという願いを込めて名付けられました。

『神戸市立葺合高等学校校歌』

作詞 荒木良雄
作曲 永井幸次

一、朝雲巻く峰を背にて
学校建てり山の気の
清しき処集ひたる
若人われらひたぶるに
努め励みて知識磨かむ

二、眸放てば遠く茅渟の海
展けて青しこの船路
世界に通ふ大いなる
未来の希望わが胸に
ひびく明るさ讃へ拓かむ

三、泉清らかに澄みて筒井台
揺がず高し敬愛の
ゆかしき心澆測と
若さにあふれ新たななる
真理求めて已まず努めむ

『神戸市立第一中学校校歌』

作詞 宮地雄吉
作曲 弘田龍太郎

一、筒台の邊に旭さしそひ
匂出でし若木の櫻
繚乱の春を競ひて耀ふよ
おし照る日影

二、摩耶の嶺に高し青雲
我が胸の理想にも似る
見はるかす茅渟の大海遼遠の
ゆくてに通ふ

三、日の本の文化の泉
筒台の園にこそ湧け
流れては末も廣らに天の下
うるほしゆかん

『生徒歌』

作詞 原清水
作曲 啓彰

一、春爛漫と咲き匂ふ
筒井が丘に新しく
友を迎へて今おどる
若さの集ひ葺合高

二、みどりに落つる布引の
岩もとどろに火花なす
力たくまし飛びしづく
わが青春の意気ぞこれ

三、月影清く天高き
秋筒陵の夜はふけて
空山落葉声もなく
思索の友のたたずめる

四、六甲摩耶に雪白く
荒涼万木枯れぬとも
やがて咲きなん若き芽は
下にはのかに萌ゆるなり

平成25年度

部活動の主な成績

【運動部】

◆陸上競技部

- 国民体育大会 男子400m 4位
- 近畿総体 男子400m 2位 (全国大会へ)
- 近畿ユース 男子400mH 優勝

◆少林寺拳法部

- 県総体 女子自由組演武 4位
男子団体演武 4位
女子団体演武 3位
- 近畿大会 男子自由組演武 5位
女子規定組演武 3位
男子自由組演武 7位
女子規定組演武 10位
- 全国大会

・県新人大会

◆なぎなた部

・県総体

◆女子硬式テニス部

- 県総体 団体 ベスト8
- 県新人大会 個人ダブルス ベスト16
団体 ベスト16

◆水泳部

・市総体

- 男子自由組演武 5位
- 男子規定組演武 2位
- 女子規定組演武 6位

団体 5位 (近畿大会出場)

団体 ベスト8
個人ダブルス ベスト16
団体 ベスト16

女子50m背泳ぎ 優勝

【文化部】

◆吹奏楽部

・アンサンブルコンテスト神戸地区大会 金賞

◆美術部

・県小・中・高校絵画展 入賞

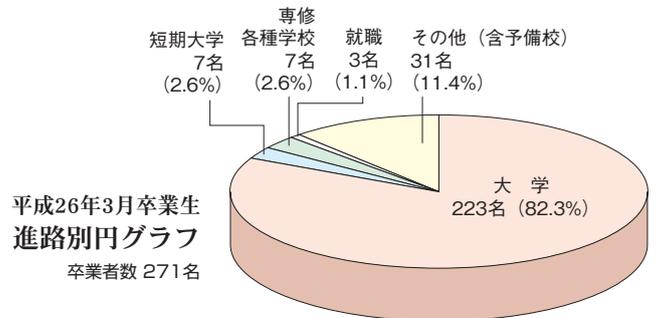
◆ESS部

・県高校スピーチコンテスト 4位
・全国高等学校生徒英作文コンテスト 優良賞

平成25年度

卒業生進路状況

※ 数字はすべて延数で、既卒者も含む
 ※ 個人情報保護の観点から連絡のない大学・予備校等もあるため、実際はもう少し多いと思われます。



国公立大学

東京外国語大 1	東京芸術大 1	静岡大 1	大阪大 7
大阪教育大 4	奈良教育大 2	和歌山大 2	神戸大 6
広島大 1	鳥取大 3	島根大 1	山口大 1
福岡教育大 1	長崎大 1	国際教養大 1	京都市立芸術大 2
京都府立大 2	大阪府立大 1	兵庫県立大 7	神戸市外国語大 7
奈良県立大 3	下関市立大 1		

22大学56名

私立大学

早稲田大 7	上智大 3	中央大 2	明治大 2
慶應義塾大 2	同志社大 35	同志社女子大 5	立命館大 25
京都産業大 12	龍谷大 8	京都女子大 4	京都外国語大 4
関西大 85	近畿大 40	関西外国語大 22	畿央大 2
関西学院大 62	甲南大 55	甲南女子大 8	武庫川女子大 14
神戸女学院大 4	神戸学院大 23	神戸親和女子大 2	神戸薬科大 3

など59大学494名

短期大学(短期大学部を含む)

関西外国語大短大部 3	頌栄短大 1	武庫川女子大短大部 8	など7大学19名
-------------	--------	-------------	----------

専修各種学校

大阪厚生年金看護専門学校 1	神戸電子専門学校 1	放送芸術学院 1	など10校10名
----------------	------------	----------	----------

公務員

1名

Profile Interview

葺合高校OB・OGで各界、各層で活躍しておられる方々にお聞きしました。

- ① 氏名
- ② 職業
- ③ 卒業年度
- ④ その他
- ⑤ 現在の活動状況
- ⑥ この道に入るきっかけ
- ⑦ この道に入って一番うれしかったこと苦しかったこと
- ⑧ 将来の目標
- ⑨ 葺高時代の一歩の思い出
- ⑩ 筒台会会員に一言



- ①前澤 美津子 (まえざわ みつこ)
- ②保育士 社会福祉法人 住吉むつみ会 住吉むつみ保育園長
- ③昭和44年卒・第21回生

- ④御影保育専門学院を卒業後、神戸市立中央市民病院内保育園「杉の子保育園」に勤務。その後、神戸市内の公立保育所10か所で勤務。開園準備期間として平成24年4月から一般財団法人住吉学園の事務所で建築予定の図面を睨み設備、環境整備の企画、購入や手作り玩具作成に頑張りました。地域説明会、PRに走り、職員面接試験後の雇用など濃い1年間でした。
- ⑤平成25年3月竣工式、内覧会、4月開園に間に合うか？のハラハラの連続の中、新入園児65人で無事開園！定員34人という乳児枠に47人の入園、幼児は48人の定員を半数の24人しかいない、全園児の65%が乳児である状態はまさに現代の待機児解消の対応と言わざるを得ません。何とか1年を終え、各行事を盛り上げ、保護者対応も丁寧に行う中、次年度の入園希望の見学は圧倒的に乳児でした。園庭開放や育児講座など地域の子育て支援も多数参加が定着する中で園長の私は野菜、草花の栽培の企画をしたり、各行事での時にはギター弾き歌い、ある時は絵本の「もったいない婆さん」ある時はマジシャン、ある時はクッキングのリーダー、ある時は魔法使いのお婆さんなど可愛い園児の反応を楽しみつつ、葺合時代からの趣味や経験を生かし、充実した日々の中で若さをも子どもたちから分けて貰い最高に幸せな時を過ごしています。
- ⑥自分が母を1歳で亡くし、保護者と離れて生活している養護施設の子どもたちと共感していきたい思いから。しかし施設実習で風邪をこじらせ、1年留年となり、3交代勤務は体力的に無理かと保育所勤務を選びました。
- ⑦自分の理想の保育を追求できる良き法人に恵まれ、40年間の公立保育所勤務の経験値を生かし、一から作っていく民間保育園の設立の中心となり、夫までが脳梗塞から立ち直り、園の安全対策に朝の門立ちをし、仕事の苦楽の共感が持てるようになったことです。準備期間を含めこの2年間の苦勞の連続は壮絶でしたが、苦樂は表裏一体ですね。
- ⑧今の仕事を納得いく形でやり終え、肩書をなくし、毎日好きなことをして食べて、昼間から飲んで気楽に生きていくこと。
- ⑨野球部初代女子マネージャーになれたこと。夏の大会予選で甲子園のグラウンドに入れたこと。春爛漫と〜♪の生徒歌が今でも好き。(学



この人に聞く



業は右肩下がりであり長き思い出は皆無！音楽の原先生が歌唱力を褒めてくださったことぐらいかなあ？)

- ⑩同窓会費だけは払いましょう！色々な出会いで「葺合」と聞くと妙に嬉しく、辛い時に「何くそ！ドンマイ！」感は高校時代に身に付いたような？その連帯の証が会費だと思うのです。同期、先輩、後輩の方々みんなで葺高魂を発揮しましょう！

追伸：新設園開園時にお世話になった業者さん社長が会長古川氏だったのも何ともご縁でした！



- ①高濱 浩子 (たかはま ひろこ)
- ②画家
- ③昭和62年 第39回生

スペインにて石を彫る 2011年

- ④高校卒業後、嵯峨美術短期大学にて日本画の基礎を学ぶ。2008-2009年Visva Bharati University (インド国立タゴール国際大学) 美術学部へ留学しベンガルの農村部にて暮らす。多ジャンルのアーティストと交流を重ね、21歳より作品発表をはじめ。国内外問わず展覧会多数。神戸在住。
- ⑤絵を描くことを中心に、舞台美術や衣装デザイン、本の装丁の仕事などもしてきました。
- ⑥美術学校を卒業後、実家の文具店の買い物袋一枚一枚に描いていた絵がきっかけで、展覧会をやってみないかと声をかけていただきました。
- ⑦嬉しかったこと苦しかったことは数えきれないほどあって、一番というのは特にありませんが、どの思い出も私の心の色になっているのだらうと思います。
- ⑧丁寧に仕事をし続けることです。
- ⑨葺高時代は女子バスケットボール部のマネージャーをしていました。バスケの経験もマネージャーになってみたいと思う気持ちもなく、ひょんなことから入部することになり、途中「マネージャーって何なんだろう？」とよくわからなくて何度も辞めたいと思いました。仲間や家族に励まされ、あともう少しやってみようとうとうか最後まで続けることができました。
- ⑩2012年、国際科三年生アジア研究の授業で「インドでの生活」の話をさせていただきました。まっすぐな眼差しで話をきく葺高生の姿がとても印象的でした。2013年、卒業生としてたしか二度目の葺高祭に訪れました。その日は雨で、レンガ色のアーチの廊下から見ると中庭は木々の緑が満ち静謐な佇まいでした。当たり前のように与えていただいたその環境に感謝しています。葺合高校での生活と出会いが、今でも「あともう少し」と思わせてくれます。ありがとうございます。



童話「おわりとはじまりのあいだ」(435×195cm) 2012年 岩手県盛岡市にて制作

しげむらひとし
重村 仁

<略歴>

昭和19年(1944)10月神戸に生まれる。
神戸市立摩耶小 同上野中 同葺合高卒業(昭和38年卒)
関西学院大学社会学部(昭和43年卒業)
大阪相互銀行(1年半在籍) ㈱萬年社(13年半在籍)
㈱旭通信社→ADK(22年在籍・平成16年定年退職)
神戸沖洲会会長(平成19年4月~21年3月)

<著書>

「タカラヅカ愛讀々」共著
(平成4年・神戸新聞総合出版センター)
「海渡って永良部島魂」
(平成21年7月)
「西郷隆盛の沖永良部在島・明治維新への道1年半」
(平成23年)

住所

〒657-0824 神戸市灘区福住通4-4-11
自宅電話：078-803-3379
携帯電話：090-1592-6340



平成25年11月28日(木) 神戸新聞朝刊より

平成26年度 筒台会役員(案)

顧問
(常任)

9代校長 神 田 民 枝
10代校長 竹 内 静 夫
12代校長 絹 笠 清 二
13代校長 大 月 民 義
15代校長 小 嶋 良 平
16代校長 山 崎 秀 昭
17代校長 油 谷 健 夫
18代校長 二 宮 尊 志
19代校長 田 中 一 好
20代校長 田 阪 義 英
21代校長 西 尾 勝(現校長)

相談役
(常任)

高 8 北 風 雅 頌
高 8 山 西 乙 平
高11 松 宮 功
高16 志 水 利 達

会 長	高18 古 川 浩
副 会 長	高17 渡 部 隆
	高21 達 脇 寛
東京支部長	高23 大 庭 義 弘
総 務	高24 大 政 直 人
	高11 小 林 寛 子
	高16 村 井 治 美
	高21 織 戸 新
	高22 石 谷 健 次
	高22 坂 本 裕 子
	高24 黒 田 勇
	高24 進 木 健 三
会 計	高27 坂 口 秀 昭
	高33 遅 秀 蘭
	高33 増 田 精 三
会 計 監 査	高38 谷 口 昌 樹
	高38 田 中 孝 幸
事 務 局	高18 佃 健 治
	高21 寺 内 修
	高27 北 風 公 基 (葺合高校)
	高39 兼 子 美 佐 (葺合高校)
	高40 村 上 ひろ子 (葺合高校)
	高41 辻 本 正 子 (葺合高校)



神戸市立葺合高等学校 筒台会

平成26年度 定時総会及び懇親会

- 日時 平成26年 6月28日(土)
受 付 5:00PM~
定時総会 5:30PM~(9Fリンデン)
懇 親 会 6:30PM~(10F The Ballroom (3))
- 場 所 ANAクラウンプラザホテル神戸

◆議 事 次 第◆

1. はじめのことば
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 第1号議案 平成25年度会務報告
6. 第2号議案 平成25年度会計報告
7. 第3号議案 平成25年度会計監査報告
8. 第1・2・3号議案質疑応答及び承認を求める件
9. 第4号議案 平成26年度事業計画案
10. 第5号議案 平成26年度予算案
11. 第4・5号議案質疑応答及び承認を求める件
12. 筒台会東京支部活動現状報告
13. おわりのことば

◆懇 親 会◆

1. はじめのことば
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 母校助成金目録贈呈
5. 乾杯
6. 会食および歓談
7. 万歳三唱
8. おわりのことば

平成26年度事業計画(案)

1. 運営基盤の確立

- (資金面) ・筒台会運営協力金(会報協力金含む)のお願い
- ・ホームページバナー広告のお願い
- ・会報の広告協賛のお願い
- (施策面) ・活動しやすい組織の確立
- ・役員会を活性化し、決定事項を実行する
- ・情報の共有化・見える化

2. 会報・ホームページの内容充実

3. 東京支部・同期会・OB会への支援

4. 母校の新校舎建設に対して協力体制を作る

5. 母校へのバックアップ体制の支援

- ・フェニックス賞の贈呈支援
- ・部活動への支援

◎平成25年度 決算報告書◎

◇経常費 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,993,487円	総会費	1,936,609円
会費	3,007,500円	会議費	176,052円
総会参加費	832,000円	事業費	2,678,235円
会報協力金	1,873,350円	(内訳)	
(内訳)		事業費	162,120円
会報収入	1,393,350円	国際協力金	200,000円
会報広告料	480,000円	部活動支援金	300,000円
運営協力金	1,663,500円	卒業記念品	516,115円
雑収入	73,090円	フェニックス賞	0円
(内訳)		教育推進費	300,000円
バナー広告料	72,000円	建替部活動経費	1,200,000円
寄付金	0円	通信費	1,093,799円
受取利息	572円	印刷費	1,244,040円
その他	518円	慶弔費	130,000円
		交通費	99,110円
		東京支部助成金	300,000円
		事務費	72,910円
		小計	7,730,755円
合計	19,442,927円	次年度繰越金	11,712,172円
		合計	19,442,927円

次年度繰越金の状況

経常通帳	593,171円
定期預金	2,498,738円
郵便貯金	2,511,629円
郵便振替	5,350,270円
現金	758,364円
合計	11,712,172円

◇賛助会費

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,961,020円	次年度繰越金	5,962,507円
受取利息	1,487円		
合計	5,962,507円	合計	5,962,507円

次年度繰越金の状況

普通預金	10,099円
定期預金	5,952,408円
合計	5,962,507円

◎平成26年度 予算(案)◎

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	11,712,172円	総会費	2,100,000円
会費	3,312,000円	会議費	250,000円
総会参加費	800,000円	事業費	8,800,000円
会報協力金	2,000,000円	(内訳)	
(内訳)		事業費	300,000円
会報収入	1,500,000円	特別事業費	6,000,000円
会報広告料	500,000円	国際協力金	200,000円
運営協力金	1,500,000円	部活動支援金	300,000円
雑収入	128,600円	卒業記念品	500,000円
(内訳)		フェニックス賞	100,000円
バナー広告料	108,000円	教育推進費	200,000円
寄付金	20,000円	建替部活動経費	1,200,000円
受取利息	600円	通信費	1,200,000円
その他	0円	印刷費	1,200,000円
賛助会費取り崩し	5,962,507円	慶弔費	200,000円
		交通費	200,000円
		東京支部助成金	200,000円
		事務費	100,000円
		小計	14,250,000円
		次年度繰越金	11,165,279円
合計	25,415,279円	合計	25,415,279円

※賛助会費を取り崩し葺合高校新体育館の綴帳、新筒台会室の家具備品納入に充てる。

◎会計監査報告◎

上記の決算報告は会計監査の結果正確であることを認めます。

平成26年 4月15日

会計監査 村松 公人

❖ 平成25年度会務報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

出席者数

- 平成25年 4月 8日(月) 「入学式」 役員 3名出席 母校
- 平成25年 4月17日(水) 「役員会」「役員・幹事総会」、会報46号発行、他 16名出席 神戸市勤労会館
- 平成25年 4月18日(木) 「役員・幹事総会」前年度決算・監査報告、本年度事業計画、予算案、総会・懇親会開催案内他 31名出席 神戸市勤労会館
- 平成25年 4月19日(金) 「会報46号校正作業」 7名出席 県民会館
- 平成25年 5月23日(木) 「役員会」平成25年度新役員、会報46号発行、総会・懇親会他 15名出席 神戸市勤労会館
- 平成25年 6月 6日(木) 「総会委員会」総会・懇親会の内容について 8名出席 神戸東急イン
- 平成25年 6月12日(水) 「役員会」総会・懇親会他 12名出席 神戸市勤労会館
- 平成25年 6月22日(土) 「総会・懇親会」 223名参加 ポートピアホテル
- 平成25年 7月 2日(火) 「総会・懇親会の総括及び打上げ」 10名出席 手打ちうどん御影
- 平成25年 9月11日(水) 「役員会」新役員、総会・懇親会の総括、今年度事業計画等 17名出席 神戸市勤労会館

出席者数

- 平成25年 9月14日(土) 「体育大会」 役員 7名出席 王子スタジアム
- 平成25年11月19日(火) 「役員会」母校建替え状況について、各委員会からの報告(総会、名簿、会計) 16名出席 神戸市勤労会館 (西尾校長、高橋先生出席)
- 平成26年 1月16日(木) 「役員会」母校筒台会室の整理について、第47号筒台会報他 14名出席 神戸市勤労会館
- 平成26年 1月18日(土) 母校筒台会室の整理 8名参加 母校
- 平成26年 2月12日(水) 「役員会」第47号筒台会報、役員・幹事総会、総会・懇親会他 12名出席 神戸市勤労会館
- 平成26年 2月20日(木) 「筒台会入会式」 役員 4名出席 母校
- 平成26年 2月28日(金) 役員 4名出席 神戸芸術センター 「卒業式」
- 平成26年 3月18日(火) 「役員会」第47号筒台会報、H26年度事業計画・予算、役員・幹事総会、総会・懇親会他 14名出席 神戸市勤労会館

KOBE

平成
26年度

筒台会総会・懇親会のご案内

日時／平成26年6月28日(土)
場所／ANAクラウンプラザホテル神戸
 神戸市中央区北野町1-1
 TEL(078)291-1121(代表)
 ※神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結

内容 定時総会 PM 5:30~(9F リンデン)
 懇親会 PM 6:30~(10F The Ballroom(3))

会費 神戸市立第一中学校卒業生…………… 無 料
 平成21年度以前の卒業生…………… ￥7,000
 平成22~24年度卒業生…………… ￥3,000
 平成25年度卒業生(平成26年3月卒業生)……… 無 料



母校の発展・育成の為、筒台会総会にご学友お誘いあわせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

筒台会会長 古川 浩

多数の方々のご参加をお待ちします。

TOKYO

平成
26年度

筒台会東京支部総会・懇親会のご案内

内容 受付開始 4:30PM~
 総会・懇親会 5:00PM~7:30PM

会費 一般男性…………… ￥7,000
 一般女性…………… ￥6,000
 中学卒業生…………… 無 料
 学生2年生以上…………… ￥3,000
 学生1年生…………… 無 料

日時／平成26年5月24日(土)
場所／新宿小田急ホテル
 センチュリーサザンタワー
 21階パークルーム
 (エレベーターを20階にて乗り換え)
 TEL(03)5354-2155(宴会予約直通)



皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 神戸市立第一中学、葺合高校の卒業生で東京近隣に在住の方々にお集まり戴き、上記の通り総会並びに懇親会を開催いたします。是非ご出席を賜り旧交をあたためていただきたく存じます。

筒台会東京支部 支部長 大政 直人